

# 臨地実習関連 FAQ

・臨地実習に関する FAQ	1
・臨地実習ガイドライン関連 FAQ	4

<本件に関するお問い合わせ先>

一般社団法人日本臨床衛生検査技師会 事務局

gyomuka@jamt.or.jp

## 臨地実習に関するFAQ

必ず実習させる行為として血液塗抹標本の作成が挙げられている。

学内実習でも行っている項目ではあるが、臨地実習でも指導する必要がありますが、標本作成はスピナー標本を作成しており、学内実習の方法とは異なる。検査法（標本作成方法）が異なっても良いのか。

血液塗抹標本作成は、学内実習では引きガラス法で適切な標本が作成できる事を目標に実習しており、臨地実習前に行います技能修得到達度評価でも、標本作成を出来る事が目標項目に入っております。しかし、全ての実習生が適切な標本を確実に作成できるレベルに達しているとは言い難いと感じます。そこで臨地実習に於いてさらに技術の向上を目指し、実習生個々の練度に合わせた御指導をいただきたいと考えております。また、「血液塗抹標本作成と鏡検」は実施が必須ですが、その方法までは明記されておりません。したがって、スピナー標本作成が不可ではございません。スピナー法には用手法とは異なる注意点がございますので、そのような点を実体験できることも、臨地実習の意義と考えております。

臨床現場で実際に行っている方法を臨地実習として体験させることは大切であるが、標本作成方法の指導は臨地実習ではなく学内の教官が通常の実習時間とは別に指導時間（実習時間）を設けて指導すれば、必ずしも臨地実習で行う必要はないと感じた。臨時実習の2/3以上は病院、または診療所で行う必要がある、とのことだったが、臨地実習では一般的な指導を行い、標本作成手技の指導は臨地実習の1/3としての時間内で学内で教官が行うことは可能か？

臨地実習の1/3は「衛生検査所」や「在宅」等で学ぶことも可能としていますが、標本作成手技の指導など学内実習は臨地実習には含みません。

学内実習で行ったことであっても、臨地実習として経験することに意義があると「厚生労働省臨床検査技師学校養成所カリキュラム等改善検討会」の中でも指摘を受けています。具体的には、患者検体を用い、感染性の可能性ある検体を扱う緊張感、モノではなく患者さんからの貴重な検体であることの実体験を学生時代に経験できるのが、臨地実習であるとされております。是非、臨地実習の学生をお受け入れ頂くご施設の指導者の皆様には学生が臨地実習で経験することへのご理解をお願い申し上げます。

グループワークの発表の際に、模擬検体や実習生同士などの表現が多くあったように思います。今回のガイドラインで必ず実施させる行為、見学させる行為などの分類が明確になったと思いますが、“実施”“見学”のニュアンスがつかめていません。模擬検体や模擬患者では実施にならないと理解していたのですが、いかがでしょうか？

模擬検体や模擬患者は学内実習で行っており、臨地実習では患者さん相手または実際の検体での実習を行うことに大きな意義があるので、模擬検体や模擬患者ではなく必ず実検体、実患者での実習をお願いいたします。

実際の実習前の練習で学生同士や模擬検体を使っても良いと思いますが、必ず患者検体（残余で可）で

の実習をお願い致します。可能であれば業務の流れの中で実習し、現場での緊張感を味わってもらいたいと思います。

**当院では学生が「実施すべきこと」、「見学すべきこと」の検査を全て実施していません。そのような場合は、実習生を受け入れてはいけないうのでしょうか。**

学生が「実施すべきこと」、「見学すべきこと」を同一施設で全て行う必要はありません。事前に養成校の「臨地実習調整者」へ連絡し、臨地実習の実施可能な項目をお伝え願います。養成校で学生が複数施設で学生が「実施すべきこと」、「見学すべきこと」を行えるようにします。

また、本来は実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の関係などでスパイロメトリーなど実習生に検査を実施させることが出来なかった場合等、結果的に実習ができなかった場合、学生が所属する学校へ伝えて下さい。

**採血業務について、実施しないとあるが、実習生同士で実際の採血をすることは可能か。(実習生同士で採血させた方がいいのでしょうか?)**

原則採血業務関係の臨地実習では、採血を学生に実施させる必要はありません。患者誘導や説明、採血の準備等の実際の患者対応を経験させていただきたいと考えております。

実習生同士の採血は、実施が好ましい行為に現時点で含まれておりません。もし施設のご判断にて実習生同士で実施する場合は、必ず採血に関する有資格者（医師、看護師、臨床検査技師）が立ち合い指導のもと行わせてください。

**「検体採取」では、「鼻腔ぬぐい液」の見学だけでも良いのでしょうか。**

**「医療用吸引器を用いて鼻腔、口腔又は気管カニューレから喀痰を採取する行為」も必ず見学させる必要はありますか？**

「検体採取」については、具体的な見学項目の明記はなく、貴施設で行っている「検体採取」の見学で可能です。

**現在当検査部では糖尿病療法指導は行っていないが、必ず見学させないといけませんか。**

事前に糖尿病療法指導は検査部で実施していないことを、養成校にお伝えください。養成校の要望により、貴施設にて糖尿病療法指導見学交渉に協力を求められた場合、見学交渉の支援をお願いします。

**「チーム医療」「検体採取」「消化管内視鏡検査」等、見学する際には何時間以上見学させないといけないうと規定はありますか？**

時間に規定はありませんが、業務の全体の流れが把握できるように見学をお願いします。

他部門(看護部、栄養課等)に臨地実習に協力を依頼した場合、「様式 8」における「一般目標」「行動目標」の評価はどのようにしたらよろしいですか？

各部門に評価まで依頼してもらうべきでしょうか？ 検査部で口頭確認を行うのもいいのでしょうか。

実習を担当していただいた評価先で行って頂くことを前提としています。

## 臨地実習ガイドライン活用に関する FAQ

**様式 3 について 別紙は大人数用ですか？  
毎年約 40 名近く来るので 1 枚で済ませられますか？**

各様式については修正が可能です。実習生が多い場合等は、別紙の一覧表などを作成の上「別紙の通り契約する」など各養成校・施設様にあわせて編集の上ご活用下さい。

**様式 4 について 3 日～1 週間ごとに実習生は部署をローテーションしているのですが、  
表の指導者印は複数押せますが、表の上にある指導者氏名は代表指導者のみですか？  
また表の指導者印は講習を受けた人だけになるのでしょうか？**

出欠の最終管理については臨地実習指導者をお願いしておりますので、この様式のまま活用する場合は、表の上にある、臨地実習指導者氏名、捺印は臨地実習指導者の方でお願いします。  
表の中にある捺印の担当者については、各実習施設様の運用にお任せ致します。  
週の途中、実習生が部門を移動される時等は、欄外にでも異動前の担当者・異動後の担当者両方から捺印いただくなど、出欠管理にご協力ください。  
(養成校とご相談の上、様式を修正も可能です)

**様式 8 について 生化学的検査は血液ガスと精度管理だけ教えるのでしょうか。**

今回の様式 8 における評価基準はカリキュラムの変更にともない、厚生労働省より指定された実習生が施設で少なくとも学ぶべき項目のみが記載されております。  
実習生にとって臨地実習は学修した知識や技術を現場でうまく使えるようになる大切な機会です。評価基準の枠にとらわれず、多くの事を体験する機会をあたえていただき、後進の育成にご協力をお願いしたいと考えております。

**様式 8 について 生理検査等、資格がないのに実施していいのでしょうか？**

生理学検査の「臨地実習において学ぶべき行為」として、厚生労働省より具体的に現場で学ぶ行為が指定され、『資格を有しない学生が、臨床現場で「診療の補助」に当たる行為を行うことから、患者と接する行為を経験する際には個々の患者や患者関係者から同意を得た上で実施すること。また、患者の安全を確保するためにも、学生が実施した検査等の情報をそのまま臨床に提供することはせず、必ず指導に当たる者が確認、または再度実施した上で臨床に提供すること。』『同意の取得方法については、院内掲示のみの場合、必ずしも患者がそれらを視認するとは限らず、また、同意の意思を確認することも困難であるため、口頭又は文書での同意の確認を得ること。なお、同意した場合であっても、患者はこれを撤回する権利がある旨も併せて説明すること。』と、公表されております。

これは検討会において医師会から実際の患者に携わるような体験を臨地実習で学んでほしいとのご意見が出され、この行為を決定させていただきました。このあたりは養成校においても学内実習でしっかりと学んでいます。ご理解をいただき、学生に実施させてください。

**様式 8 について 「出血時間」について、実施している施設はあるのですか？**

実施している施設もあります。

自施設で実施していないとしても、原理と結果解釈についてはしっかり理解させるようお願い致します。

**実習項目、必ず実施させる行為 生理学的検査「肺機能検査」(スパイロメトリー)とあるが、学生は実際に全て検査項目を実施しなければいけないのですか？**

必ずしも努力性肺活量の測定を含めた全てを網羅していただくことまでは想定しておりません。

施設によって状況は異なるため、実情に応じて可能な範囲（肺活量のみ等）で行っていただければと存じます。